

はせ通信

http://www.hasenet.org

冬季号

vol.44

2010.12

臨時国会 総括!! 「人のふり見てわがふり直せ!!」

10/1 ~12/3

提案型国会論戦の提唱

漁船衝突問題での処理、補正予算編成、TPP参加問題、ロシア外交、閣僚失言など、いずれも民主党政権の失政は目に余る。では、自民党ならどうする? と常に国民に厳しい視線を投げかけられてもいる。したがつて政策提案型の国会論戦にすべき。国会での党利党略論戦は時代遅れ。

**11月24日 「海外美術品公開促進法」議員立法提出
(衆議院事務総長室)**

財政健全化責任法の成立は国政最重要課題。
TPP(環太平洋経済連携協定)問題は、国内への情報公開を優先し、日本経済への影響を具体的に示すべき。自民党なら、農業競争力強化の手立てと財源を示し、条件不利地域の所得補償制度を整えます。

そして、参加が否かの最終判断をします。何も情報がないままに、国内産業のことを考えず、思いつきで参加表明するようなことはしません。農業ばかりでなく、金融や労働市場や公共調達の自由化も課題です! FTAやEPAをこそ、先行して交渉を進めるべきです。

ばらまきマニュフェストは見直しと撤回。財源確保し、企業や新産業が伸びる方向への投資財源とすべきです。会社なくして雇用なし! 研究開発や設備投資を促すためにも、投資をしやすくする環境整備が重要です! もちろん、海外からの投資も呼び込む必要があります! 研究開発の成果を商品開発に生かし、実用化的道筋を示すべき。地球温暖化対策や介護難民対策はそれこそ新たなビジネスチャンスです! また、電力発電や新幹線や水ビジネスなどのインフラ輸出も新たなどビジネスチャンス!

具体的提案

中国漁船衝突問題は、ビデオ公開がポイント。

中国の横暴を糾弾し、尖閣諸島の領有権を明確に国際社会に発信すべき。そのためにもビデオは早い段階で公開すべきだ。自民党ならば、漁船衝突問題は外交問題であり、政治主導で解決すべきと位置づけます。衝突(体当たり?)→公務執行妨害→逮捕→取り調べ→起訴→公判→判決→超法規的措置で釈放: という政治決断をすべきでした。中国に付けるべきを与えてはなりません。それが外交です。

国防は国家最大の福祉、平和こそ国家の公共財であり、政府は国民の生命財産を必ず守ると宣言すべきです!

いつも有り難うござります!!

9月20日 ツールドのと

9月19日 薬師谷国政報告

9月23日 全日本プロレス金沢大会

9月26日 地元千坂小学校社会体育大会

10月2日 100kmウォーキング

10月9日 金沢支部街頭演説

10月11日 小立野小学校 改築工事起工式

10月16日 学生の就職相談シンポジウム

10月17日 錦丘中学校・高校 新校舎完成記念式典

10月23日 政経セミナー